

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 22号)

平成31年 4月17日発行
 兵庫のみ研究所

今回調査は上げ潮時ということもあり、大阪湾から流入する海水の影響が二見東部周辺まで見られました。窒素は、陸水等の影響を受けていた調査地点を除き概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。明石海峡部周辺の海域でレプトシリンダラス等数種の珪藻が多く確認されましたが、それ以外の海域において珪藻は前回 (4/11) 調査同様少ない状況が続いています。

(水温) 漁場内平均 12.8°C 。平年、昨年比ともに概ね 0.8°C 高い。(塩分) 平均 31.95psu 。前回 (31.73) より 0.22psu 高い。

(栄養塩、珪藻) 4/14に降雨 (気象庁アメダスより 雨量: 28.5mm) があつた。窒素は魚住以西の地先寄りでは $3\sim 5 \mu\text{g-at/L}$ 台、それ以外で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台であった。大阪湾から流入する海水の影響が大きく見られた林崎新漁場東部から明石海峡周辺では、レプトシリンダラスやニッチアといった珪藻が多く (海水 1m^3 あたり約 1000 細胞) 確認され、その海域の窒素は $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後と前回調査と比較し減少している。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	12.2	12.8	12.0	11.9
窒素	3.0	3.3	3.1	2.9
リン	0.25	0.29	0.25	0.24

(4/11)

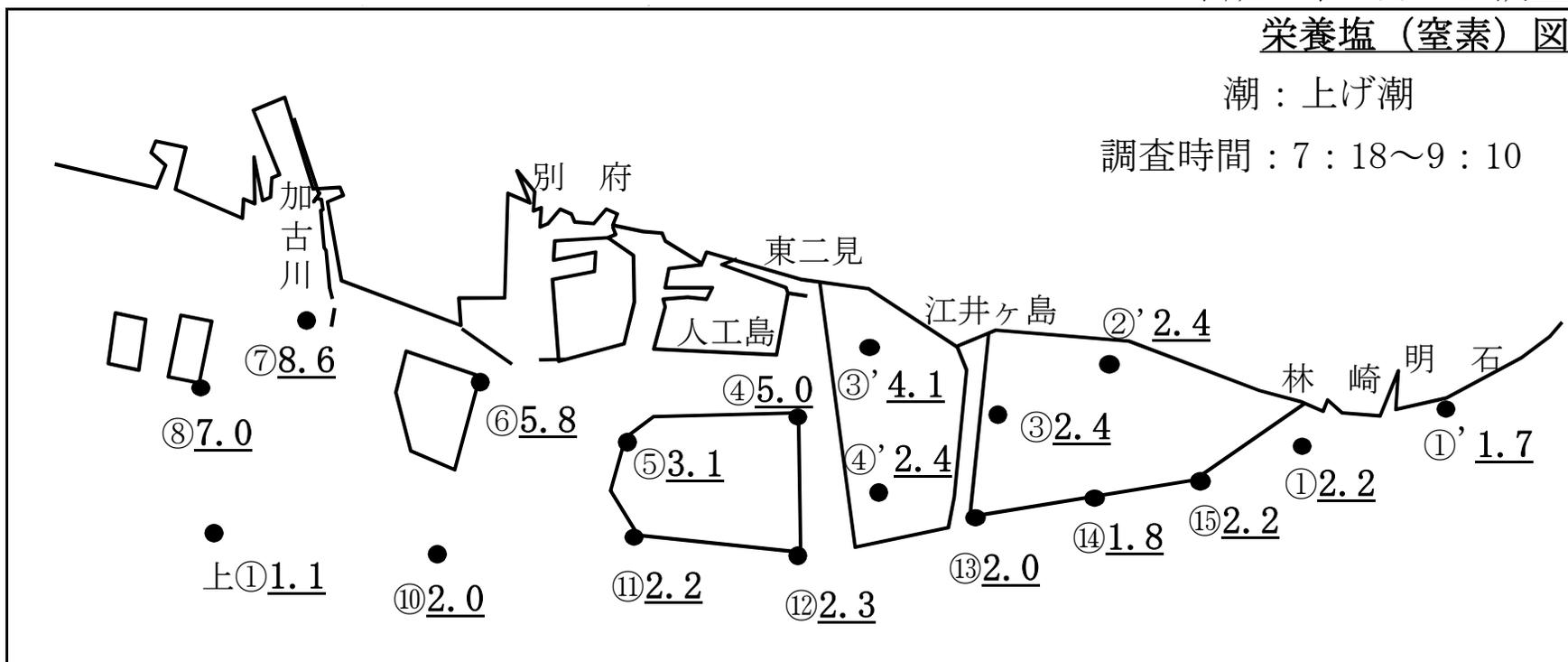
(4/16)

平成31年 4月17日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮: 上げ潮

調査時間: 7:18~9:10



水温図

